

[S]

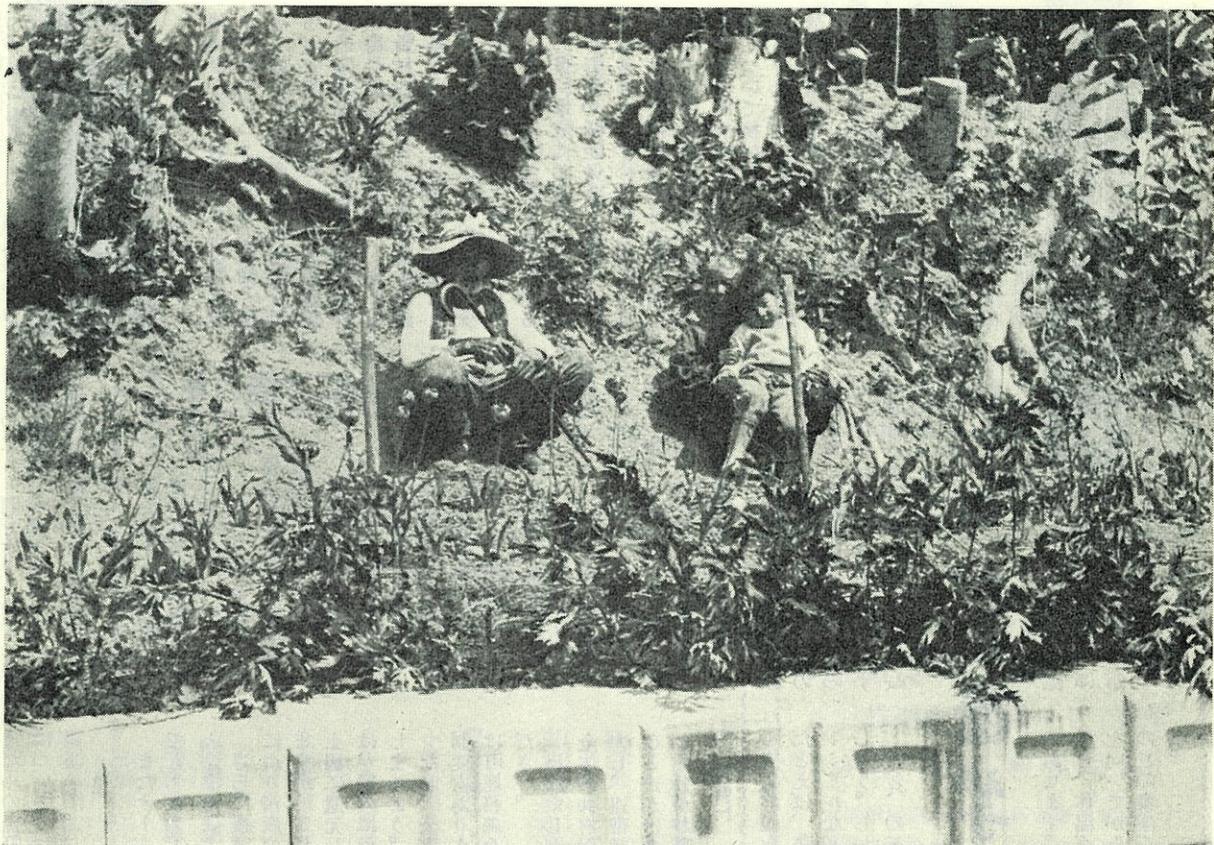
昭和50年7月1日発行

No. 161

広報 ニセコ

ニセコ町役場総務課

自然を愛し、住みよい環境をつくりましょう。（ニセコ町民憲章）



たいせつに保存をあとでお役に立ちます。

町の人口	
男	2,460人
女	2,605人
計	5,065人
世帯数	1,332世帯
(50年5月末現在)	

道路の空地で花壇造成

善意ありがとうございます

町の西部のミヅホ駐在区の菅間条三さん（79才）と同ナツさん（72才）ご夫妻の善意により、町道五十万通の矢田橋護岸の空地を利用し花壇を作つていただきました。

花壇には、チューリップの運搬が今を盛りとして咲きほこつており、道行く人々を心温かく迎えておりました。

また、この駐在区の方々の庭にも花壇がよく手入れされておりました。

みんなの力で町づくりの輪を広げましょう。

昭和50年 7月号

新らしい農村社会の建設をめざし はします。

わが国は、今までにないきびしい状況におかれています。世界的なエネルギー等資源の有限性、国内的には物価問題、環境問題、住宅、社会資本の立遅れの解決に迫られています。経済成長の制約条件のもとで豊かな郷土、町民生活の充実という課題をいかに実現していくか、その打開策の方法、手段をなんとかしてさぐりださねばならない時代です。

そこで町では、長期的展望と広い視野に立つて、まちづくりの未来像として「ニセコ町総合計画」を昭和四十七年に樹立しました。そして、今日この計画を基本に地籍調査や農業構造改善などの諸事業が、國、道の諸計画とあいまって推進されております。

また、この町の総合計画の中でも町発展の基本的方向を示しておられ、新しい農村社会の建設を目標としておりますが、昨年来、国道開発局などに要望して参りましたが本年、北海道で一ヶ所の国事事業とし採択された農村基盤総合整備事業の調査に協力することになりましたので、そのあらましをお知らせいたします。

その主な内容をお知らせします。

第四回ニセコ町議会定例会は、六月十一日から十四日までの四日間議場において開催され、町長の「行政報告」のあと、町税条例の一部を改正する法律が制定されました。その要旨は、地方税負担の現状にかんがみ、個人の住民税について負担の軽減を図るために地方税法の一部が改正されました。

改正された点は、

▶ 第4回定例町議会 ◀

一般会計補正予算

二千三百六十四万九千円を追加

第四回ニセコ町議会定例会は、六月十一日から十四日までの四日間議場において開催され、町長の「行政報告」のあと、町税条例の一部を改正する法律が制定されました。

その要旨は、地方税負担の現状にかんがみ、個人の住民税について負担の軽減を図るために地方税法の一部が改正されました。

改正された点は、

①所得控除の引上
②生命保険料控除の限度額の引上
③控除対象配偶者等の範囲の拡大
④扶養親族のない寡婦についての所得限度額
⑤非課税範囲の拡大

障害者等についての非課税の範囲を年所得五十五万円から六十万円に引上げる改正点

○二五〇cc未満の軽自動車も年の途中に購入しても月割課税は廃止となりました。

○入湯税は七月一日から次のとおり改正になりました。

宿泊四十円から一百円
日帰三十円から七十円

一般会計補正予算

【農林水産業費】

簡易水道事業特別会計繰出金

二八万四千円追加

【衛生費】

公認グランド入口暗渠補修工事

四〇万円追加

相馬部落集会所新築事業補助

五十五万円から六十万円に引上

○基礎控除十八万円から十九万円

○配偶者控除十八万円から十九万円

○扶養控除十六万円から十九万円

○老人控除十六万円から十九万円

○特別障害者十六万円から十九万円

○寡婦控除十三万円から十六万円

○その他十三万円から十六万円

○障害者控除

○老人控除

○配偶者のいない第一子

○扶養控除

○入湯税

○宿泊

○日帰

○一般会計補正予算

○農林水産業費

二四〇万三千円追加

北海道農村花嫁対策 推進の功労者として受彰

本通り 大場利信さん

大場利信さんは商業経営者であります。が農業経営について、その理解が極めて深く時代の変遷とともに農業後継者の花嫁不足に特別心配され、当人が20歳の若年から現在まで27年間の長いあいだ自ら農業後継者に対する花嫁、花婿のあつせんをし、その数、実に60組の媒酌の労をとり、しかも婚約成立のみならず農家経済、嫁と姑の折合等について、たえず指導育成され家庭内の円満形成に努力されており、又当人はニセコ町結婚相談所相談員として活躍中でその功績頗著なるものと、北海道農村対策推進連絡協議会に認められ、去る6月13日札幌市水産会館において、北海道知事感謝状並びに北海道農村花嫁対策推進連絡協議会長表彰を受けました。

○障害者控除	十四万円から十七万円
○老人控除	十六万円から十九万円
○配偶者のいない第一子	十六万円から十九万円
○扶養控除	十三万円から十六万円
○老年者控除	十三万円から十六万円
○寡婦控除	十三万円から十六万円
○勤労学生控除	十三万円から十六万円

出それぞれ一三、六四九千円を追加

一般会計補正予算は、才入才出

人出それぞれ七八万四千円を追加

予算総額は、才入才出とも三千七百九十万一千円となりまし

までの二ヶ年間です。

調査事項

本年は町における現況を把握す

ます。

ための全町の自然的・社会的条件について、現地踏査、資料収集、観測等により調査の予定です。

またオートバイの排気音についてもマフラーなどの整備点検につめましょう。

さらに農業構造改善事業の推進により畜産の多頭化の傾向にあります。

は、絶対に河川へ流さないようにしましよう。

なお、公害防止改善設備資金の制度もありますので希望される方は、総務課企画係へお問い合わせください。

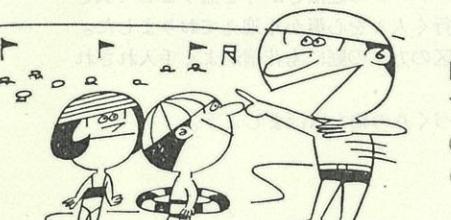
わたくしたちの町ニセコは町民

制度もありますので希望される方は、総務課企画係へお問い合わせください。

～子どもを水の事故から守ろう～

いよいよ本格的な夏がやってきました。毎年7月から8月にかけて2ヶ月間は、海や川で水泳中や、水遊び中に死亡する人が1年で最も多いシーズンです。お互いにつぎのことを守つて事故のない夏を過ごしましょう。

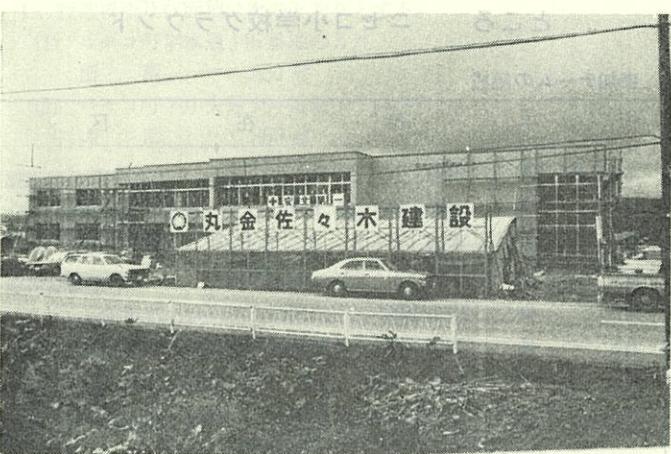
- 子どもだけを水辺で遊ばせないようにしましょう。
- ふだん子どもが遊んでいる場所をよく知つておき、子どもだけの水遊びをやめさせましょう。
- 幼児はつねに保護者の目のとどく場所で遊ばせましょう。
- 子どもの危険な水遊びを見かけたら、みんなで注意してやめさせましょう。



町民センター完成間近

総工費 2億4千万円

二セコ町民センター



急ピッチに工事が進められている町民の殿堂
完成まであとわずか。

期日	時間	開催場所	対象地域
8月4日	午後1時 30分から	近藤小学校	近藤校下一円
8月5日	〃	宮田小学校	宮田校下一円
8月6日	〃	福井小学校	福井校下一円
8月7日	〃	桂中学校	桂中校下の ニセコ町内地区一円
8月8日	〃	藤山小学校	藤山校下一円
8月9日	〃	西山集会所	旧曾我校下一円
8月9日	午後6時 30分から	役場大会議室	市街地一円及び有島、 羊蹄、元町、里見、富丘 別太、松岡、ニセコ、 王子方面

—住民のナマの声を……

町政懇談会

8月4日から

ことしも、農閑期を利用して、町内各地で町政懇談会を開催いたします。

道路、橋、社会福祉、税金、農業、商工業、教育などについて、広く意見を拝聴し、町政に反映させ、よりよい町づくりに努めてまいりたいと思っておりますので、みなさんの卒直なご意見をお待ちいたしております。

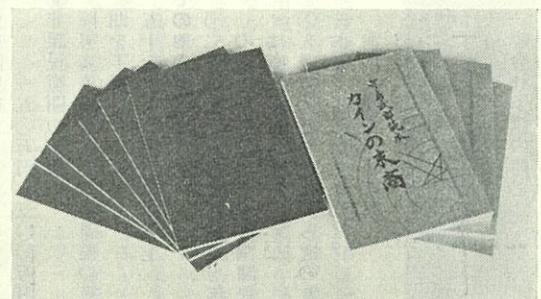
役場からは、町長はじめ各課長が出席いたします。

開催日程は、つぎの表のように決りましたが都合により出席できなかつた場合は、他の場所にお集りくださつてもさしつかえありません。

どうぞ、町政懇談会には、多数の方々がご出席くださり、ご意見をお聞かせくださるようお願いいたします。

郷土社会科の副読本

有島武郎 読本 発刊



小学生、中学生向けに発刊された「カインの末裔」「一ふさのぶどう」

町民ブルーのあたりから見る、
羊蹄山の雄姿をバックに建つ近代
校舎の偉容は、調和のとれた一枚
の絵であると毎日の出勤の折につ
くづく感じております。

この四月、緑
があつて伝統に
輝く本校に赴任
し二七〇名の中
学生の教育に専
念できますことを喜びとしており
ます。

しかし、私は浅学菲才の身でありますので、町民の方々のご理解と
ご支援により、眞実の教育を探究する情熱を更に燃やし、ひとりひ



ニセコ中学校長
佐坂清二

とりの生徒が持つ可能性の限界まで能力を發揮させる教育実践を推進させたい願望を更に強めたいと考えております。

豊かな自然と人情の町で、整備された学校環境の中での中で、共通理解に立った教職員の協力体制づくりにつとめ、身体的、精神的大脳生理学的にみて発達と成熟の重要な時期の中学生を鍛え育てていきたいと思います。

ご協力ご指導の程よろしくお願ひいたします。

農業改良普及所ニセコ駐在所

が移転となりました

昭和44年普及所の広域化統合によつてニセコ、真狩、留寿都喜茂別の4町村の普及所が流合し南羊蹄地区農業改良普及所として真狩村に本所を、夫々の町村に駐在所を置き、広域活動を行つて参りましたが、昨年来から建設中の普及所の庁舎が此の程真狩村字光（留寿都寄りの市街はづれ）に完成致しました。

新広舎の完成に伴つて今まで各町村に置かれていた駐在所業務は新広舎に移転し実質的な広域普及所としての業務を引き継ぎ推進することになりました。

この程完成した庁舎には実験室、研修室、実習室が併設されております。昭和23年ニセコ町農業改良相談所が発足して以来27ヶ年有余、普及所、駐在所と名称がかわりましたが関係者各位並に町民の皆様から寄せられた御協力、御支援を深謝申し上げる次第です。6月からの普及業務推進に当つては最近の農業事情に対応する高度の効果的な技術普及指導に全力を傾注する所存ですが駐在所廃止後の業務が軌道にのるまでは幾らかの期間を要するかと思います。又、町内農家の殆んの方が有線電話の関係で連絡等に不便を來す場合もありましようがその節には農協営農部或は町産業課の窓口を通して従来同様よろしく御願い申し上げ事務所移転の御挨拶とします。

▼総務課庶務係 志村 孝一（時政課税務係）
▼財政課税務係 中塚 寿昌（商業課農林係兼農地開発係）
▼産業課農林係兼農地開発係 村 伸朗（務務課勤務）
▼総務課統計係兼務 黒沢 （企画係長兼広報係長） 義士

このたび、ニセコ町教育研究会の皆さんのお努力により、郷土社会科の副読本が発行されました。有島武郎については、今さら語る必要もありませんが、大正11年8月に有島農場を開放したことは現在のニセコ町の発展につながっていると言つても過言ではありません。

この中学生向け「カインの末裔」小学生向け「一ふさのぶどう」を読んで、ニセコ町ゆかりの深い有島武郎について深く知り、先人の業績について、考える態度や、郷土の発展を願う心をやしない、考えのしつかりした、児童生徒になつてくれることを期待したいもので。

【町】
【の】
【人】
【事】